

NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第101号 (R元.12.21)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに 12月、師走の声を聞いてからもう21日が過ぎました。令和元年も余すところ10日ほど。ニュース第100号発行から1か月。本当に時の過ぎ去るのは早いなあと感じております。永遠の5歳児チョコちゃんによると、感動、ときめきが少なくなると時が過ぎるのを早く感じるそうです。年を重ねても、ときめきを大切にしたいですね。

さて今年最後のORMZニュース第101号では、現地での巡回診療の様子や会の活動報告等をお伝えします。

2019年も多くの皆様のご支援で、様々な活動を行うことができました。心から感謝申し上げます。

来る2020年も引き続き、さらなるご支援をよろしく申し上げます。

年末は気温の変化が激しいようです。暖冬とはいえ、寒暖差で体調を壊されないよう、そして良い年をお迎えになられますようお祈り申し上げます。

会の活動報告

・**経理規定等策定** 先日ご報告しました、認定NPO法人の認定更新の際、できれば経理規定等を備えて下さいとの指導を受けておりました。そこで、会計顧問をお願いしている公認会計士の方にご相談し、最終的には理事会の議事を経て、経理規定・出納管理規定・固定資産管理規定を策定しました。詳しくは会のホームページに掲載しますのでご覧ください。

・**地球倫理推進賞への応募結果** 支援者の方からのお知らせを受けて、8月に地球倫理推進賞（一般社団法人倫理研究所による地球倫理の推進に貢献している団体を毎年顕彰するもの）に応募していましたが、12月21日、残念ながら選に漏れたとの通知が届きました。残念でした。

*お知らせとお願い

多くの方々からご寄附をいただき本当にありがとうございます。

その際、当法人に届くゆうちょ銀行からの明細票に、住所等の記載が無く、カタカナのお名前のみの方がおられます。

ここに再度そのお名前を記載しますので、お心当たりのある方は、日高までメール

(info@ormz.or.jp)にて連絡をください。寄附受領証明書をお届けします。

- ・ナカハラ マサアキ
- ・トチオリ イクミ
- ・ソウマ イサオ
- ・ナカムラ トモタカ
- ・マツモト ヨシコ
- ・ヤマサキ マリア
- ・ヌマタニ タカコ
- ・ウマコシヤスヒコ
- ・タニグチ ツトム
- ・ササヒラ ケンイチ
- ・キンテツトシ
- ・マキノ カオリ
- ・ノグチ ヒトミ
- ・ハシモト ヒロアキ
- ・ハセガワ ヒロシ
- ・カネヒラ アキラ

(敬称は略させていただきます)

振替受入明細票	
受払通知番号	89号
受入口座番号	01720-9-126351
払出口座番号	
通知番号	1号
送金種別	振込
金額	
口座徴収料金	0円
<small>口座徴収料金には消費税・地方消費税を含みます。</small>	
送金人	通信文
住所の記載が無い	
カタカナのお名前のみ	

現地活動報告（山元香代子先生）

みなさま いかがお過ごしでしょうか。日本ではだいぶ寒くなってきていると聞きました。こちらでは雨が降り始めました。しかし、停電はあいかわらず続いています。だいぶ慣れましたが、不便であることには変わりません。朝早くから夜中近くまで停電なので、電子レンジが使えず、冷凍庫の白米が食べられないのが残念です。

11月13日はルアノでの巡回診療。ルサカでは夜中からたいへんな雨でしたので、ルアノに行けるかどうかとても心配でした。案の定チペンビとルアノの境界にある川の水位が増して、膝下までありました。ルアノ行は断念せざるを得ませんでした。11月25日に再度計画しました。



調剤担当のメリーさん

11月20日はリテタでの巡回診療。その後は激しい雨が降ることもなく、ルアノからリテタまでの道のりは乾燥して埃が舞っていました。患者数は77名と少なく大人の男性をほとんど見かけませんでした。教会の会合出席や、食糧配給があり、そのため多くの男性が村から出かけていました。マラリア陽性は76名中10名(13.2%)。5歳未満の子供の陽性者は25名中4名(16.0%)でした。マラリア患者数はやや減少していました。しかし下痢や血便を訴える患者が33名とあいかわらずとても多くみられました。毎月のように下痢を訴える家族もいます。飲料水を煮沸するように幾度も説明していますが、彼らの生活習慣を変えることはむずかしいです。経口補水塩や水を殺菌するクロリンの使い方を知らない母親が多く、来年はドラマグループを呼んで啓発活動をしなくてはならないと考えています。

12月以降おそらく川の水が増して渡れず、巡回診療には行けないと考え、コミュニティヘルスワーカーに十分量の薬剤とマラリア検査キットを渡し、高血圧症やてんかんの患者には4-5ヶ月分の薬剤を十分な説明をして渡しました。4月末には診療に行けるといいのですが。

リテタからの帰りに生後1か月の乳児を診察しました。自宅分娩の未熟児で、黄疸が消えないとの訴えでした。とても元気で母乳もよく飲み、核黄疸を示唆する所見はありません。母乳による遷延性黄疸の可能性もありますが、粉ミルクなどは手に入りません。母親がしっかり栄養をとり、母乳を飲ませ、次回のサンダラでの巡回診療に連れてくるように説明。母親の栄養補給のための油や豆などを次回のサンダラに持参する予定です。ほんとうはヘルスセンターに連れて行き、そこで経過を見てもらうのが一番なのですが、自宅分娩なので罰金を300クワチャとられますし、母親もそれをとても恐れています。施設分娩が推奨され、自宅分娩の場合、チサンバ郡では300クワチャとられます。ですからヘルスセンターまでの交通費のない母親は隠れるようにお産をしています。その300クワチャの半分はヘルスセンター、半分はチーフ（チサンバ郡の多くのヘッドマンの長）の所へ行き、どのようにそのお金が使われているのか誰も知りません。理不尽な話です。



ルアノ地区の患者カルテ

11月25日はルアノでの巡回診療。13日の巡回診療が中止になり、予定を急遽変更したのですが、患者数は112名と多く、マラリア陽性は104名中9名(8.7%)。5歳未満の子供の陽性者は37名中5名(16.0%)でした。マラリア罹患者はほとんどがマプランガ地域からでした。噴霧を実施していないので、マラリア患者が増えることが心配されます。妊婦健診や家族計画の受診者



妊婦健診に集まった人々

が多く、ルアノの診療は以前のように月2回に戻すことが話し合いで決まりました。

11月27日はニャンカンガでの巡回診療。患者数は35名と少なく、マラリア陽性は35名中0名。5歳未満の子供の陽性者は9名中0名でした。雨が降り始め、人々は畑を耕し始め忙しいとのことでした。



ようやく殺虫剤が郡保健局に届きました。しかし、ポンプは2個しか貸してもらえないとのことで、ルサカで新しいポンプを2個購入しました。11月14日から17日まで、マラリア患者の多いサンダラとサパニでマラリア蚊予防のための殺虫剤噴霧を実施しました。82家族、137家屋に噴霧を行いました。このうち1家族だけが噴霧を拒否しました。ルアノの他地域や、ニャンカンガからも噴霧の要請があったのですが、殺虫剤が早めに手に入らず、郡保健局の噴霧と重なり、また、ルアノやニャンカンガの噴霧を郡保健局が実施するととのことで、今回は見合わせました。何とか殺虫剤を直接手に入れることはできないものかと考えています。

11月4日から9名の参加者に対してのコミュニティヘルスワーカー（CHW）研修の前期分が11月23日に無事に終わりました。参加者はまだ薬剤の処方はできませんが、マラリア検査は実施できるように指導したので、現地のコミュニティヘルスワーカーの手助けをしてくれると期待しています。

殺虫剤噴霧と研修が終わり、ほっとしています。メイズの収穫のため、水力発電のためには十分な雨が降らないといけませんが、雨季の巡回診療が無事に実施できることを願っています。

みなさまからの支援に心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

- ・2019事業年度（事業年度は1月から12月）の賛助会費（個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上）及びご寄附（金額は問いません）のご協力をよろしくお願いいたします。
- ・当法人は認定NPO法人であり、ご寄附（賛助会費含む）いただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書（賛助会費も寄附金と同様税控除の対象）をお届けします。
- ・ご不明の点は日高（info@ormz.or.jp または hidaka1956@gmail.com）までご連絡ください。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号 01720-9 口座番号 126351
加入者名 NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 口座記号：01720-9 口座番号：0126351
加入者名 : NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会
カナ名称（全角） : トクヒ）ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

*** 令和元年（2019年）も大変お世話になりました。**

多くの皆様のご支援に心から感謝申し上げます。